

5Sの指導力を体得へ 足利5S学校 第11期インストラクター開講式

「足利流5Sを実践しよう」をスローガンに、5S(整理・清掃・整頓・清潔・躰)活動を推進している足利5S学校(菊地義典校長/菊地園車(兼社長/当所副会頭)では、10月27日に足利学校方式で、来年3月まで行われる第11期インスト

税務署長 吉田智穂莉さん(自衛中三年)

ラクター養成講座の「開講式」を開催した。同講座は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い4月の開催が延期されていたもの。式典では、同校の菊地校長が挨拶したあと、参加者全員で「足利5S学校理念」を唱和し、5Sの更なる普及と研修成功に向けて、意気込みを盛り合った。

5Sインストラクター養成事業は平成22年から始まり、既に160人が誕生し足利流5Sメソッドを広く内外に普及させている。

講座には、市内企業から6人、市外企業から2人を受け入れた。研修生が5Sの指導力を身につけ、インストラクターとして5Sの普及に努めて行く一方で、5S実践を通じて、店舗、事務所、工場、倉庫などあらゆる職場が見違えるほどきれいになり生産性や顧客への信用力向上につながるよう期待される。

研修生以下の通り(順不同・敬称略)。増渕健彦(足利ガス(株))、須藤伸和(菊さくら精機)、板橋光治(一社) 産業サポート白河)、志田智世(東京フォーミング(株))、宮田龍弘(東芝マ

テリアル(株))、萩原賢二(株)、前原利充(一社) (機深井製作所)、鹿野福(同康福祉会)。
(柏崎配)



第11期インストラクター(後列)と足利5S学校役員ら(前列)